

# ぜんじょう並木

## 「ふれあい配食会」行われる

松本市社会福祉協議会安原地区支会主催の「ふれあい配食」が、五月三十日と六月六日に行われました。

お弁当作りを担当するのはボランティア団体「ぎんなんの会」の皆さんです。

平成元年に安原支会が市のモデル事業として保健補導員OB、民生委員、日赤奉仕団等の各種団体の協力によりお年寄りの会食活動が始まりました。当初は元原公民館で年五回、五十食のお弁当で会食会を行っていたそうです。平成七年に約五十人の会員で「ぎんなんの会」が結成され、会食会、配食を継続してきました。

平成十三年安原地区公民館の開館と共に活動の場をこちらに移し、当時は六十五才以上の方を対象に年三回、百四十食程のお弁当作りを行い、平成十四年には社会福祉事業特別功労者として社協から表彰を受けています。  
平成十八年までは各公民館

と地区公民館での会食会が一回ずつと配食が一回でしたが、十九年からは配食二回、ふれあい会食一回となりました。長寿の時代となり、年々作るお弁当の数が増え、昨年は二七〇食になったため、今年は一四〇食ずつ二回に分けて作ることにしました。盛り付けには各町会の福祉部長、民生委員の皆さんにもご協力いただきました。

献立は栄養士で会長の走川



おいしいお弁当ができました。

総江さんが「家庭の味」を基本に考え、毎回好評を博しています。「ぎんなんの会」の会員も大分入れ替わり、現在は二十八人。新しい人のご参加をお待ちしています。  
十一月七日は地区公民館でふれあい会食会開催予定です。

## 防災無線運用始まる



夕方五時半になるウエストミンスターの鐘が聞こえてきますが皆さんご存知でしたか？

松本市同報系デジタル防災行政無線が六月一日から、旧松本地区の概ね東側地区で本格運用を開始しました。この夕方の鐘の音は機器の正常動作を確認するため放送しています。災害時等は、松本市から市民の皆さんに一斉、迅速かつ正確に緊急・

防災情報を屋外スピーカーを使って放送します。

安原地区は少年刑務所西南総合体育館、元原町公園、旭町小学校に設置されています。また、公民館など公共の場にはラジオ型受信機が設置され、災害など緊急放送に備えています。



屋外スピーカー

平成二十四年度から、三年計画で三〇七ヶ所に設置し、全国瞬時警報システム(J-ALERT)の情報、災害が予測される場合の緊急情報、避難に関する情報などを流します。  
近年、日本は亜熱帯気候に似てきており突然ゲリラ豪雨が降り、川の氾濫や、土砂崩れが生じやすくなりました。災害発生時は状況に応じて市役所内に臨時FM放送局を設置し情報提供がされます。  
災害はいつ起きるか分かりません。大雨のときなどスピ

## いちよう並木

キョウチクトウは真夏の太陽にも負けず、健気に咲き、公害にも強く高速道路の分離帯等でよく見かける花。厳しい条件下に育ち、夏バテ気味の我々に一服の癒しを与えてくれる夏を代表する花です。

この花は誰にでも水挿しで簡単に増やす事が出来ます。樹形を整える為、剪定で切り落とした枝をペットボトル等に水を入れて挿すだけです。挿している間は水切れに充分注意願います。順調に育てば一ヶ月もすると切り口に細かい根が確認できます。根が



充分伸びた状態まで放置、後に植木鉢に移します。  
用土は特別選ばず、鉢底に水はけと殺菌を考慮して必ず木炭を施して下さい。  
水挿しに使う容器は、発根状態確認の為、透明の容器をお奨めします。  
近年は冬の信州も暖かくなりましたが、植え付け後、冬季、二年間は霜の当たらない五℃以上の場所での管理下さい。その後は充分野外で育ちます。一度、お試しあれ。

一カーからの情報が聞き取りにくいことも考えられます。緊急時に備え、携帯メール配信サービスやラジオ放送でも情報収集ができるようにし、非常持ち出し袋を玄関などに備えておきましょう。



防災無線の操作室

新しいゲストハウス、元は老舗の漬物屋さん



新町に生まれたゲストハウスは、ボランティアスタッフの方々が古い町に新たな宿屋を、町の一員として育てる覚悟を感じさせてくれました。

神奈川県出身の常駐スタッフ栗谷さんは、信大理学部大学院を終え、たまたま空家となっていた漬物屋に出会い、そこで支えてくれる仲間とカンドラゲストハウスと名付けた宿をはじめました。歩道から見える正面には、三色のカンドラがディスプレイされています。

少し前までは漬物の工場であることを、今でも十分雰囲気と匂いで感じられます。旧・味噌醗酵室と書いた部屋には二段ベッドがならんで、今は



新たな宿屋、カンドラハウス



栗谷さん作の松本城

味噌の代わりにお客様の宿泊場所になっています。

素泊まりが基本です。宿泊客の方が無料で使える自炊のキッチンも提供されます。お風呂はありませんが、シャワールームがあります。

宿泊客の実績では、海外よりやはり国内の方が多く、年齢は六十歳代までと幅広い利用層です。お客様にとっても、地元の情報収集と情報交換の場はとても大切。大樽の蓋をテーブルに備えたラウンジに、地元町内の人たちにも気軽に寄ってもらえる場の提供が、用意されています。

栗谷さんは絵が描ける。宿の中に幾つもの絵葉書が飾られています。町内のお菓子屋

さんでも見ることができるようです。一度気軽に訪ねて、絵を楽しんでください。栗谷さんの松本城も秀逸です。

若い酵母の熟成には、地元の応援も欠かせません。



栗谷さん(右)とボランティアスタッフ

「福祉ひろば」退職のご挨拶  
関 和美



開設時から十四年間大変お世話になりましたが、三月で退職いたしました。

この間、利用者の方々や地区の皆様方のご協力と励みで、充実した毎日を過ごさせていただき、事業を通し楽しかった思い出と共に、大勢の皆様とお知り合いになりました。ことは一番の財産となりました。今後は地区の一員として、出来る事を協力していきたいと存じます。長い間ありがとうございました。

「福祉ひろば」就任のご挨拶  
赤澤 智子



四月から「福祉ひろば」でお世話になって話になっています。

ひろばを訪れる大勢の方々に声を掛けていただいても励まされると共に大変うれしく感じています。皆様にとって、居心地の良い「ひろば」であるように常に心がけて、大人も子供も気軽に寄れる場所としたいと思いますので、今後ともご支援いただけます様よろしくお願ひします。

平成二十六年安原地区公民館委員紹介

運営委員

- ◎ 遠藤 穎治(元原町)
- ◎ 澤柳 清一(天白町)
- ◎ 保科 守宏(安原町)
- ◎ 金岩 博司(中原町)
- ◎ 草深 邦子(新町)
- ◎ 藤本 和夫(旭町)

図書委員

- ◎ 辻 眞美子(萩町)
- ◎ 松田 貴子(西下町)
- ◎ 中村 剛(東ノ丁)
- ◎ 武井満喜子(新町)
- ◎ 石田 千鶴(中原町)

文化委員

- ◎ 藤本 和夫(旭町)
- ◎ 保科 守宏(安原町)
- ◎ 小澤 驍(安原町)
- ◎ 小松 清人(中原町)
- ◎ 走川 總江(天白町)
- ◎ 大和 靖(新町)
- ◎ 望月たか子(中ノ丁)
- ◎ 大平美那子(中原町)

公民館事務員が代わりました

七月から公民館管理事務員が布山真紀さんになりました。よろしくお願ひします。